

七大学若手会臨時総会および第一回講演会が開催されました

2014年12月7日（日）、七大学若手会臨時総会と初の講演会が東京で開催されました。会員と来賓等で合計72名（男性：48名、女性：24名）が参加しました。一般社団法人学士会の南原晃常務理事から祝辞を頂き、学士会の渡辺幸重事務局長、村松健一事業課長、花山乙恵総務企画課長、大阪大学卒業生室の大倉美恵子副室長が来賓として出席されました。

七大学若手会は、旧七帝国大学の学位を有し、満45歳以下の若手を正会員とする同窓会組織で、2014年7月7日に設立されました。会員同士の親睦交流を図り、七大学及びその関係同窓会と相互補完・共存共栄関係をとることに、相互の発展に寄与することを目的としています。

臨時総会の冒頭では、許志国会長（2006年京大大学院修了）から七大学若手会の設立経緯・運営方針・今後目指す姿を含めた設立趣旨の説明がありました。また、設立の際に制定した七大学若手会会則の修正案が全会一致で可決されました。

役員任命式では、会則に基づき、許会長が水野有香氏（2005年名大大学院修了）を副会長、吉野雅彦氏（2003年北大卒）、酒井裕人氏（2009年東大大学院修了）、西澤正浩氏（2005年東大大学院修了）、山川早霧氏（2005年京大中退）、田辺裕美氏（2013年阪大大学院修了）を理事に任命し、任命証書を交付しました。また、杜穎富氏（bbc株式会社）、大倉美恵子氏（大阪大学）の両名を賛助会員に認定しました。

総会に続いて、七大学若手会第一回講演会が催され、元日銀総裁の福井俊彦氏より「飽くなき挑戦に向けて」を演題とした講演が行われました。経済のグローバル化や情報通信における世界の劇的な潮流変化の中で、日本が目指す新しい方向性についてのお話がありました。

懇親会のクイズ大会では七大学関連の問題が出され、楽しい雰囲気の中、閉会しました。



南原常務理事の祝辞を代読する渡辺事務局長



ご来賓の方々（前列左から、村松課長、花山課長、渡辺事務局長、大倉副室長）



左から：田辺理事、山川理事、杜穎富氏（賛助会員）、許会長、吉野理事、西澤理事



講演会中の様子



講演する福井俊彦氏



クイズ大会の様子



集合写真